



はなび いろ  
花火はなぜいろいろな色があるの

おも せい あ うく はなび  
思わずかん声上がる美しい花火

なつ よぞら おお はな ひら はなび いろ み  
夏の夜空に大きな花が開いたような花火は、とてもきれいですね。いろいろな色を見せながら、あっというまに消えてしまう花火。  
この美しい花火の色のはなびは、花火の中につめられている「星」にあるのです。

いろ ひかり だ くすい ほし  
いろいろな色の光を出す薬のかたまり「星」

う あ はなび かわ うち ほし いろ ひかり だ くすい  
打ち上げ花火は皮のすぐ内がわに、星とよばれるいろいろな色の光を出す薬のかたまりが、ぎっしり詰められています。  
じょうくう う あ はなび おお たま ほし ちゃっか うく いろ み  
上空に打ち上げられて、花火の大きな玉がはれつすると、星に着火し、美しい色を見せながらまわりに飛び散るのです。

ほし いろ だ きんぞく つく  
この星は、もえるときにいろいろな色を出す、金属のこななどで作られています。  
あか いろ きいろ みどりいろ あおいろ どう しろ ひかり  
赤い色はストロンチウム、黄色はナトリウム、緑色はバリウム、青色は銅、白い光はアルミニウムなどです。

なんど いろ か なんしゆい きんぞく かさ いろ だ  
何度も色が変わるのは、何種類かの金属のこなが重ねてめってあり、はじめの色を出す薬がもえつきると、次の色を出す薬がもえて、ちがう色を出すのです。

(監修 小川 格)

う あ はなび なか  
打ち上げ花火の中

